

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 酒田～勝浦航路確保維持協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
①酒田市 ②酒田～勝浦航路 酒田港周遊(不定期)	①運航便数、運航時刻の調整 ②子ども無料キャンペーンによる誘客の促進、また、パンフレットの作成他、ホームページやSNSによる情報発信及び誘客の促進。 ③酒田港クルーズや貸切運航等の不定期航路の運航における収益の確保 ④急発進や急加速等をしない運航及びドック時の定期的な船底清掃並びに機関メンテナンスによる燃料効率上昇による燃料潤滑油費の経費削減や船舶消耗品費、修繕費等の経費削減 ⑤山形県・酒田市が取り組む飛鳥振興プロジェクトとの連携における離島活性化方策の推進並びに酒田市、(一社)酒田観光物産協会、とびしま未来協議会の3者の連携による航路改善計画の推進 ⑥インターネットを活用した発券・管理システム導入の検討	<b>【前回の事業評価結果】</b> ・インターネット乗船予約システム、キャッシュレス決済の運用継続により、利用客の認知度、利用者の利便性を向上させていることについて評価します。 ・インターネットを活用した発券・管理システムの導入により、利用者利便の向上、事業の効率化が図られることを期待します。  <b>【事業評価結果の反映状況】</b> ・前年度に引き続き、予約システムやキャッシュレス決済の認知度が高まり利用者の利便性も向上した。 ・乗船券販売システム機器導入に係るプロポーザル審査会を令和5年7月及び9月に実施。同年11月に契約締結。令和6年3月の設備導入後、令和6航路年度内の運用開始を予定している。	左記の改善事業の概要については適切に達成・実施した。  ※左記④については、燃料単価の高騰等により燃料費が増加したものの、下記のとおり事業を適切に実施した。  実施の内容  ④燃料単価の高騰、機関部の経年劣化による燃費悪化の進行という悪条件があったものの、急発進・急加速等をしない運航、ドック時の定期的な船底清掃や機関メンテナンスの実施により、燃料効率の維持に努めた。また、船舶修繕費は検査項目の見直しにより計画時比8.5%減、船舶消耗品費は適正管理により計画時比14.8%減を達成した。	<b>■旅客人数</b> 計画: 23,370.0人 実績: 19,023.0人  <b>■達成状況</b> 前年度から実施している新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として乗船定員を8割程度(180人)に削減しての運航を繁忙期であるG.Wまで継続したことで繁忙期の乗客数が抑制されたこと、島内の旅館・民宿の休廃業による宿泊収容能力の低減の影響もあったこと、大きくは、利用が集中する週末時期の荒天欠航が多く発生したことが理由となり、目標を達成できなかった。  達成率 81.4%	観光誘客の促進により乗船利用者数の確保を目標に効果的なSNS発信、観光素材の活用を図る。 乗船券販売システムの更新により、乗船手続きの簡素化、利便性向上を実現する。